

# 未体験のウイルスパンデミック。始まらない新学期。 足立学園はその時一。

## ■Microsoft Showcase Schoolとしての挑戦

1月中旬に最初の国内感染者が報じられて以降、クルーズ船の集団感染くらいまでは他人事だった人も多かったのではないのでしょうか。足立学園でも卒業式、修了式は平常通りできる予定で進めていましたが、2月中旬には大規模イベントの自粛、さらには下旬に休校の要請も政府から出たことにより学校側も予定を変えざるを得ない状況となってきました。

卒業式、学年末考査、新入生登校日、修了式などは規模を縮小したり、始業時間をずらすなどの対策をして行いました。間の日はすべて休校となり、その間にこれからの対応について協議が行われました。

ちょうどタイミングよく、3月3日に、以前より活用していた Office365 の実績が認められ、Microsoft 社より Microsoft Showcase School の認定を頂いたところでした。それまで教室での対面授業の補助的役割として使用

していた Teams や Forms といったアプリの機能にさらに踏み込み、オンラインでの授業、ホームルームへの試行錯誤が始まりました。



▲Microsoft Showcase School 調印式

Microsoft Showcase School とは、マイクロソフト本社が認定する教育 ICT 先進校です。ICT で教育を変えたい、という強いビジョンを持ち、ICT を日常的に授業に活用し、実践を広めていく意思のある学校が 1 年の任期で活動するものとなります。世界中から選出され、日本の中学校高等学校で認定されている学校は、現在本校のみです。

## ■Teams と Stream—アプリの組み合わせでオンライン授業の自由度を上げる

3月の学年末考査終了から修了式までは Teams を使って、ホームルームと授業を行っていました。2週間ほど実践した結果わかってきたことが、Teams 会議で授業を行うと、家庭のインターネット回線や WiFi 環境が大きく影響してくること、参加者が増えると音飛びなどが起きてしまい授業の聞き逃しが起きてしまうという問題点でした。

そういった問題点を洗い出し、4月の新学期から中学 2・3 年生と高校 2・3 年生には Teams で朝と夕方のホームルームを行い、授業は Stream を使って撮影した動画を各自で見ながら学び、Teams で課題提出または Forms で確認テストを行うという形式をとりました。また高校生は以前から導入しているスタディアアプリ（リクルート社）も活用し、教科書の内容は教員が配信する動画を、応用や復習にスタディアアプリを使う形で家庭学習を進めていました。

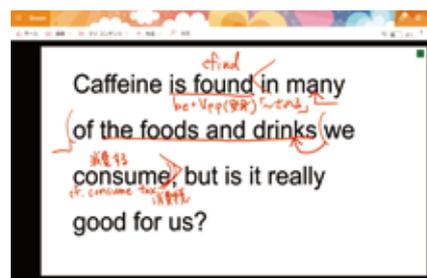
4月中旬より高校 1 年生にも Office365 アカウントの運用を開始し、他学年と同じように Teams ホームルームが始まりました。担任との初めて

の対面が画面越しという不思議な形となりましたが、相談できる人が増えたのは生徒たちにとっても安心に繋がったのではないのでしょうか。



▲オンラインホームルームを行う教員の様子

Stream での授業動画配信は、主に教科書の内容を教員の声で解説していくという手法をとっている教員が多いですが、生徒からは「繰り返し見ることができる」「分からないときやノートをとるとき一時停止できるのが助かる」と好評の声が多いです。Forms での確認テストでは、問題を解いて送信ボタンを押した後、解答と点数をすぐに確認することができます。



▲説明とともに書きこまれていくので理解しやすい



▲Stream で作成、配信されている授業の様子  
右のトランスクリプトは自動字幕なので誤字も多いが、補助にもなる。

## ■新入生の対応、Office365 への参加方法

入学式も延期となり、すでに Office365 での授業に慣れていた在校生と違う新入生には、ペーパーでの課題を与える、スタディサプリでの勉強を課す、といった家庭学習をお願いすることとなりました。足立学園では例年、入学式の前に学内での PC 利用の際に使うアカウントと Office365 のアカウントを設定し、新入生への仮の身分証カードの裏面に通知しており、これが後に大きな役割を果たしました。

Office365 の利用の前に、デバイス整備の問題も立ちはだかりました。元々の運用では中学 2 年生で全員に購入をお願いしており、そこから 5 年間使用します。高校からの新入生は、今までは BYOD でスマートフォンや iPad など自前のデバイスを認めていましたが、今年度から中学 2 年生と同じように購入をお願いする方向で話が進んでいました。

この未曾有の事態となり、高校新入生は、まずスマートフォンや自宅 PC から Teams のホームルームに参加してもらい、操作に慣れてもらう事を開始しました。そこで担任とのコミュニケーションがより取りやすくなったタイミングで、タブレット PC 購入のお願いと販売チラシ、EC サイトへの導入を行いました。

問題は中学 1 年生です。元々中学 1 年生からのタブレット PC を使った授業を行ってこなかった理由として、学校生活にしっかり慣れ、中学生としての基本的な生活を身につけ、学校の PC 教室でリテラシーを学んでから

2 年生で使用を開始する、という運用で行って来ました。しかしこの事態に、ペーパーでの課題やスタディサプリだけでは不十分、不安な状態のままにしておけない、ということで急遽中学新入生のタブレット PC 販売の手配を行いました。Wifi 環境、デバイス環境を Forms で調査・集計し、購入案内を始めています。

今回こういう対応に踏み切れたのは、家庭内の IT が進んでいたという実態があります。学生のスマートフォン所持率、家庭内でのインターネット環境や WiFi 導入など、学校だけが頑張っても実現できなかった部分にご協力いただけたというのは大変大きかったと思います。急遽のお願いにご対応いただいた保護者の皆様に感謝しております。



▲昨年度に引き続き、SurfaceGo を採用。Office365 との連携も取りやすい。

## ■足立学園の強み、それは瞬発力と適応力、応用力

足立学園は今までも運用の変更や改善に柔軟に対応してきた学校です。ICT 導入についても 6 年前から取り組みを開始し、全教室電子黒板設置、学内 WiFi の構築と改善、双方向授業のための協働作業アプリの活用と必要なものは随時導入してきました。Office365 を導入してからは Teams で生徒と教員が繋がり、気軽にチャットで質問したり連絡事項を流したりというコミュニケーションが取れるようになり、Forms を使用したアンケートや小テストは学習面だけでなく事務的な面でも積極的に活用されるようになってきました。

今回の休校で、3 月中に実施していた Teams でのオンライン授業から Stream での授業動画配信の形に変更したのも、トラブルに対すぐに修正、対応できた結果です。Stream で教員はどんどん授業動画を撮り貯め、生徒は自分のペースで学習することができます。分からないところは Teams で質問をし、Stream の動画を見つつ、手元のスマートフォンで通話アプリを使いながら友達と一緒に勉強会を行う生徒も出てきました。

休校中、教員同士の連絡も Teams で行われていました。ホームルーム実施後に行われる Forms アンケートの集計結果が回覧され、外部からの情報が共有されています。Office365 で新しい機能が追加されれば、本校 MIEE (Microsoft 認定教育イノベーター) から随時情報提供され、使い方の研究も行われています。Stream で他の教員の授業動画を見ることで自分の動画作成に手を加えたり工夫をしています。

このような状況になっても、足立学園の教員は前向きに、自分にできることを探して取り組んでいます。使えるものは貪欲に使い、新しい機能には興味を持って取り入れる。そういった柔軟性や応用力を持つ教員が揃っていることは、足立学園の大切な財産であり、生徒の皆さんにどんどん利用していただきたいと思います。すべては生徒のために一。生徒第一主義を掲げている本校らしく、教職員一同、志を持ってこの難局を乗り越えていきます。



▲Teams でのホームルームの様子。ホワイトボード機能も使用している。

学校・教育委員会などから、多くの方に視察にいらしていただいております。ICT 導入担当部署で悩まれている方はぜひご相談ください。また、本校の受験をお考えの受験生・保護者の方でもっと詳しく知りたい方は [nyushi@adachigakuen-jh.ed.jp](mailto:nyushi@adachigakuen-jh.ed.jp) までご連絡下さい。お待ちしております。